現代システム科学域
College of Sustainable System Sciences

大阪府立大学

工学域
College of Engineering

CAMPUS GUIDE

2021

生命環境科学域
College of Life, Environment, and Advanced Sciences

地域保健学域
College of Health and Human Sciences

2022年4月開学予定
新大学情報はこちら➡
随時更新

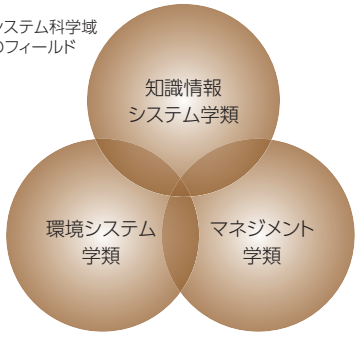
現代システム科学域

College of Sustainable System Sciences

知識情報・環境・マネジメントの知識を融合させて、持続可能社会の実現をリードする人材を育みます。

私たちの社会を資源やエネルギーだけでなく、人という観点からも持続可能なかたちに変えていく、それが現代の課題です。現代システム科学域は、この課題に取り組む人を育てるため、3つの学類を用意しました。人と情報ネットワークの明日を構築する、知識情報システム学類。自然と人が共存するための環境を創造する、環境システム学類。社会の新しいあり方を模索する、マネジメント学類。それぞれの専門分野を中心に、知識科学、情報システム工学、環境科学、現代思想、心理学、経済学、経営学、生産システム科学などの複数の分野を組み合わせて学び、さまざまな分野の「つながり」について理解を深めます。さらに、学んだ知識を適切に活用する力を磨いていくことによって、さまざまな方向から問題にアプローチする力を身につけます。それが私たちの考える「システム的思考力」です。このシステム的思考力が現代の課題を解決するために必要とされているのです。

■現代システム科学域
学びのフィールド



次世代のシステムテクノロジーと
多分野の専門知識を融合させ、未来のサービスを創造します

知識情報システム学類

インターネットやコンピュータなど情報通信テクノロジーについて学ぶとともに、知識科学、情報システム工学をベースにして、環境科学、社会科学、経済・経営科学、材料情報科学、保健・医療、教育など幅広い分野の専門知識を学修します。情報システムと社会システムを融合させ、サービスを科学的に捉え、革新的な情報システムを創出できる力を育みます。

P.07

自然・社会・人間に関わる分野を横断的に学びながら
現代の環境に関する課題解決に取り組みます

環境システム学類

地球温暖化などの自然環境の問題、貧困や宗教対立などの社会環境の問題、こころの問題などの人間環境の問題といった、現代の多様な問題に対し、自然・社会・人間を対象とするさまざまな学問を融合させ、多面的なアプローチで解決へと導く力を育みます。本学類は「環境共生科学課程」「社会共生科学課程」「人間環境科学課程」の3つの課程を設置しており、課程配属は2年次後期です。

P.10

多様な学問領域の相乗効果により
システム的思考力とマネジメント力を修得します

マネジメント学類

少子高齢化や経済のグローバル化、地方分権化などの現代社会の大きな変化に対し、経済学、経営学、法学、経済データサイエンス、会計学、生産システム科学という、これまでの学問領域を超えた融合的な学びを展開し、これからの経済社会の発展に貢献できる実践的・創造的能力を育みます。本学類は「マネジメント課程」「経済データサイエンス課程」の2つの課程を設置しており、課程配属は2年次前期です。

P.16

point pick up

- 1年次に各学類の基礎となる「学域共通科目」を配置し、持続可能な社会の実現のために必要となる各学類の学びの基礎を共通して身につけます。
- 2年次以降は、演習の授業を継続的に配置。これにより、学んだ知識を結びつけ、有効に生かすための実践力・応用力を養うことができます。
- 現代システム科学域の海外インターンシッププログラムでは、現地でミニプロジェクト型学習を行ったり、現地の大学生などと交流を行います。
- 「他学類専門科目」は他の学類の専門科目を系統的に学習できるように科目を配置しているもので、自分の学類の専門的知識を身につけたうえで、他の学類の視点・知識を獲得することができます。
- 学類を決めての受験だけでなく、学域で受験し、2年次から学類を選択するフレキシブルな学び方も可能です。

サステイナブルな社会を築く
次世代のリーダーを育成します。

現代社会の問題を俯瞰的に捉え、持続可能（サステイナブル）な社会を創る人を育てたい。現代システム科学域では、そう考えます。

現代社会にはさまざまな問題が存在します。高齢化社会対応や子育て支援などは身近な課題ですが、その解決を妨げる要因の一つが格差です。一方、世界では、宗教・思想の対立によるテロ事件が毎日のように起きており、その背景には富の集中と貧困、さらに根本には人口爆発による資源枯渇があります。

このような問題に立ち向かい、持続可能（サステイナブル）な社会を創ることのできる人とはどのような人なのでしょうか。まず、現代社会の問題を個々の事象だけで捉えるのではなく、自然と人間との複雑な関係をさまざまな側面から理解し、全体としてどのように変化しているのかを俯瞰的に捉えることができなければなりません。また、世界中の飢えや貧困をなくし、すべての人々の尊厳が守られる社会を作っていきたいという高い倫理観と使命感を持っていることも必要でしょう。

そのような人を育てたいと現代システム科学域では考えています。もちろんこれだけの力をつけるには、幅広い分野の知識を学び、多くの実践経験を積む必要があり、卒業までも楽な道のりではありません。それでも果敢にチャレンジしたいと思う人は、ぜひ現代システム科学域で学んでください。そして、同じ志を持っている私たち教職員と一緒に、サステイナブルな社会を築いていきましょう。

現代システム科学域長
大塚 耕司

Profile
博士（工学）
専門分野は海洋環境学、海洋資源工学。沿岸域環境について、現地調査、実験、数値シミュレーションを組み合わせて研究している。

知識情報システム学類 School of Knowledge and Information Systems

インターネットや携帯電話などの情報システムは、私たちのくらしを便利に、そして快適にしてくれます。一方で、現代社会は複雑化・多様化が進み、一分野の専門知識だけでは解決できない問題が各所で生じています。
「知識情報システム学類」は、最先端の知識科学と情報システム工学の基礎を身につけ、さらに環境科学、社会科学、経済・経営科学、材料情報科学、保健・医療、教育などの複数の専門分野の知識を修得し、これらの知識と技術を駆使して、問題解決のための新しいシステムや未来のサービスを生み出せる人材を育成することを目標にしています。

履修モデル（履修の一例）

	情報・環境・マネジメントの3分野を学ぶ	知識科学、情報システム工学の基礎を固める	各学問領域で専門性を高めていく			
	学域共通科目 他学類専門科目	専門基礎科目 学類専門科目	学類専門科目			
1年次	●サステイナビリティ入門 ●社会システムとサステイナビリティ ●共生文化論入門 ●法律学入門	●解析学基礎I・II ●統計学基礎I・II ●物理学A・B ●プログラミング入門 ●情報基礎				
2年次	●認知科学I ●国際法と共生社会	●線形代数I・II ●フーリエ解析 ●数値解析 ●コンピュータアーキテクチャ ●情報ネットワーク ●データベースと情報検索 ●アルゴリズムとデータ構造 ●マルチメディア情報処理 ●情報セキュリティ ●情報システム構成論 ●知識情報システム学演習I・II	情報ネットワーク系 ●プログラミング言語概論 ●オペレーティングシステム ●知識情報システムの企画・計画 ●プログラミング実践 ●オペレーションズ・リサーチ	人工知能系 ●知識科学概論 ●教育情報学 ●プログラミング実践 ●材料情報科学	社会科学系 ●情報技術と企業活動 ●情報システム評価 ●計量経済学I・II ●ゲーム理論 ●メカニズムデザイン	ヘルスケア系 ●ヘルスケアシステム ●ヘルスケアサービス
			●知識情報システム学海外インターンシップ			
3・4年次	●認知科学II	●知識情報システムの開発・運営 ●知識情報システム学演習III・IV	●ソフトウェア工学 ●オートマトンと形式言語 ●Webサービスデザイン ●人工知能 ●機械学習 ●知覚情報処理 ●計算知能	●人工知能 ●機械学習 ●知識モデリング ●自然言語処理 ●ヒューマンコンピュータインタラクション ●教育情報システム ●教育・学習の理論と設計	●マーケティング・サイエンス ●意思決定論 ●データマイニング ●経営情報分析 ●経済統計I・II	●ヘルスプロモーション ●ヘルスケアインターンシップ
			●知識情報システム学インターンシップ ●知識情報システム学特別講義	●知識情報システム学英語演習	●知識情報システム学卒業研究	

ピックアップ講義

資格・受験資格

■高等学校教諭一種免許状（情報）

想定される進路

■情報通信業や病院などの公的機関の情報システム部門
■サービス業、メーカー、商社など各種企業
■高等学校教員
■公務員
■大学院への進学　など

研究テーマ

現代社会の問題を解決するヒントがここに。知識情報システム学類の最前線研究テーマ。

保健・医療や看護サービスの質向上

知識情報システム学類
真嶋 由貴惠教授　桝田 聖子准教授

保健・医療・看護とICTや先端技術を組み合せ、新しいサービスの仕組みやシステムを研究

保健医療や看護サービスの質を向上させるためのICTや先端技術の活用について研究をしています。例えば、ベテランの看護師の持つ暗黙的な看護技術（注射の仕方等）を分析し、効率的に学習できるシステムや、人型ロボットを活用した認知症予防教育や高齢者見守りシステムなどの開発を行っています。

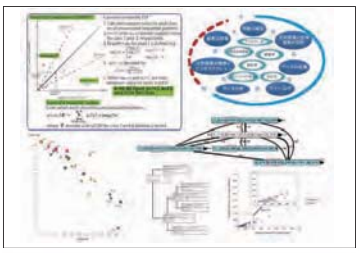
教員からのひとこと　多様な状況、環境、立場の方々から、それぞれの考えを尊重して聴く姿勢を培ってください。

経営問題への科学的アプローチ

知識情報システム学類
森田 裕之教授

企業経営における データマイニングに関する研究。

ビッグデータと呼ばれる多様で大量のデータを活用できる環境が整ってきています。企業経営におけるさまざまな問題を解決するために、これらのデータを適切にマイニングするための手法を開発し、実際に活用するための研究を行っています。



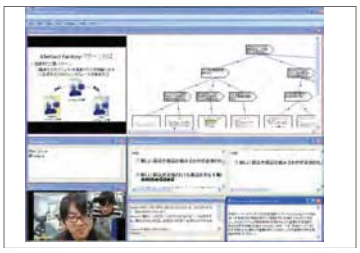
教員からのひとこと　広い視野から独自の問題意識を持ち、データ分析を活用して、現実の問題に答えを見つけ出せる能力を修得しましょう。

学習支援システムの開発

知識情報システム学類
瀬田 和久教授

ヒトの知的活動を活性化するシステムについて研究。

ヒトが本来持っている能力を引き出し、高めることを支援するソフトウェアの開発を行っています。プレゼンテーションを通じて学びへの内省活動を活性化することで「無知の知」を促し、「真摯に持続的に学習する能力」の育成を支援するシステムは、私たちが取り組んでいる研究の一例です。



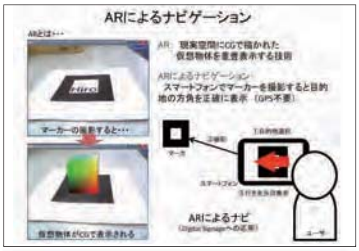
教員からのひとこと　「ヒトをわかる」「ヒトに役立つ」の両立が、この研究のモットー。もっと賢くなれるのか？ を掘り下げています。

モバイルコンピューティング

知識情報システム学類
太田 正哉教授

地下街やGPSの電波が届きにくい場所で役立つWebサービスの開発を研究。

携帯電話やスマートフォンのためのアプリケーションや、新しいWebサービスの開発に取り組んでいます。例えば現実空間にCGで描かれた仮想物体を重ねて表示するARという技術をスマートフォンに搭載して、行きたい方向を正確に表示するナビゲーションシステムを開発しています。



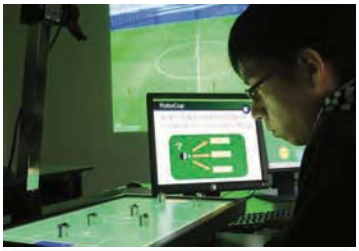
教員からのひとこと　情報通信技術や情報システムなどの情報技術を組み合わせ、未踏の分野を開拓できる能力を身につけてください。

サッカーエージェントの知能化

知識情報システム学類
中島 智晴教授

コンピュータが自ら学習し、賢くなっていく知的システムを開発。

自律的に行動をとるサッカーエージェントを開発して、「2050年までにロボットのサッカーチームが人間のチャンピオンに勝利する」プロジェクトである、「RoboCup」のロボットの頭脳として採用されるべきシステムを開発しています。これらは、人間が従来行っていた作業の自動化に繋がります。



教員からのひとこと　自由な発想とアイデアを形にする楽しみを感じてください。また、グループ活動を通して人の輪を広げてください。

情報発見に関する研究

知識情報システム学類
柳本 豪一准教授

大量のデータから効率よく情報を発見し、新しいデータを解析できる手法を開発。

最近はTwitterやFacebookが話題になっています。これらのソーシャルメディアでは、予想外で有益な情報が見つかりやすいため、今までは見つけにくかった情報が見つけやすいのではと期待されています。私のグループではコミュニティを考慮した情報発見を行っています。

教員からのひとこと　情報検索等が苦手な人にとっても必要な情報を得やすくなるような、研究を行っています。

学類詳細はP.7から

知識情報システム学類

Topics

これが「知情」のチカラ！　－教科書販売支援システムの開発－

2015年4月から、本学類の学生有志が開発した教科書販売システムが大阪府立大学生協で利用されています。このシステムでは、教科書の注文書を事前にWebで作成することができます。教科書販売会場で注文書を書く時の混雑を緩和したいと学生有志が提案し、本学類の教員の助言を受けながら大学生協のニーズをくんで開発しました。開発した学生が卒業した後は、本学類の後輩たちがメンテナンスを引き継いでいます。

全文はWEBから

ロボカップ2018世界大会にて昨年に続き２連勝

＊ロボカップは、人の操作によって動くロボットではなく、自ら動く自律移動型ロボットによる競技会です。本学は2002年から参加しています。

2018年6月にカナダ・モントリオール国際会議場で開催されたロボカップ世界大会において、知識情報システム学類出身の院生が参加するチーム「HELIOS2018」がサッカーシミュレーション２Dリーグ部門で優勝しました。

参加学生のコメント：前回の大会で優勝を勝ち取ることができた分、2連覇へのプレッシャーは大きかったです。多くのチームが対HELIOS用の戦略を練ってくることが予想され、厳しい戦いを想定した開発を進めていました。

指導教員のコメント：学生のみなさんがたくさんの時間と労力を注ぎ込んできたことが最高の結果につながりました。

全文はWEBから

ラーニング・イノベーショングランプリ2018で優秀賞受賞

2018年7月に開催されたLearning Innovation Grand Prix (LIGP)2018の最終審査にて、本学類の学生が参加するチーム「チームCEWill」が優秀ラーニングイノベーション賞を受賞しました。

本研究グループでは、ヒトの知的活動を活性化したり、潜在的な能力や意欲を引き出すAIの研究を行っています。受賞研究では、多くの日本人が苦手とする第2言語（英語）による会話意欲を高めるアニメーション・エージェントを開発しました。英語で話す学習者の不安を軽減し、やる気と自信を高めるようエージェントが励まし、助け、理解し合おうとすることを可能とする会話戦略のモデルといった提案の新規性・実用可能性が評価されました。

＊ラーニング・イノベーショングランプリは、これまでにない学習・教育方法やスタイル、革新的なラーニングテクノロジーを発掘し、新たな学習・教育環境を提案することを目的とした競技会です。

全文はWEBから

Topics 環境システム学類

学類詳細は P.11 から

南極は不思議がいっぱい！／環境共生科学課程　竹中 規訓 教授

約 20 年前から抱き続けてきた夢がようやく叶って、研究室の大学院生とともに研究調査で南極へ。夏の南極は予想よりも暖かく、調査をした海岸から 100km 弱離れた H128 地点では－5 ～ －20 度程度の気温でした。基地も小屋もない場所（もちろん風呂も快適なトイレもなし）で 7 人の共同生活を行うため、雪上車の運転、食事の支度など、全て交代制の自力でした。360 度雪平線の中、沈まない太陽、きれいな夕日や雲など、とても印象的な景色を見ながら、雪と大気の間の物質交換やエアロゾルについて調査を行いました。

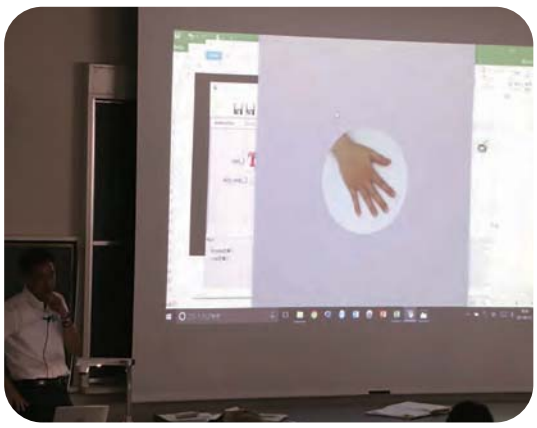
全文は WEB から

海賊ユートピア「社会構想の文化史」（社会学）レポート／社会共生科学課程　酒井 隆史 教授

海賊研究が進み、私たちがイメージするジョリー・ロジャーの旗印のもと「死」を笑い飛ばす陽気な無法者の海賊は、社会から逃げた人たちが理想的な社会を築こうと、一度だけの「生」を短く太く生きがいのあるものに輝かせようとした営みであったことが明らかになりつつあります。不安定な時代に生まれたものがその後、人間の心に取り付いてやまないことは、よくあります。それは社会の何かが固まる前の「夢」のようなものを体現しているからです。

全文は WEB から

認知プロセスにおける身体の役割は想像以上に大きい／人間環境科学課程　岡本 真彦 教授



ジェスチャーは身振りを使って“想い”を伝える行為です。小児や幼児は未成熟な言語能力を補うために、ジェスチャーによる意思伝達を行うとされています。6 歳以上の子の大半が「イメージされた道具」をジェスチャーで使うのに対して、3 歳児だと身体の一部を道具に見立てる「body part gesture」を行います。意識的認知を身体が代わって行うということ、ジェスチャーで身振りを使うことは“意思伝達の補助”にとどまらず、認知や思考そのものと深く関わっていると考えられます。人間の認知プロセスにおける身体の役割は、想像以上に大きいのです。

全文は WEB から

環境システム学類
School of Environmental System Sciences

環境共生科学課程 Environmental Symbiosis ／ 社会共生科学課程 Human Coexistence ／ 人間環境科学課程 Human Environment

自然・社会・人間が共生するシステムを考える

たとえば、日本のエネルギー問題は、科学技術だけで解決できるでしょうか？　日本の優れた技術を活かすには、新たなエネルギーによる自然環境への影響の評価、普及を促進する法津などの社会制度の検討、地域に暮らす人々への理解が必要です。これら自然環境・社会環境・人間環境の問題を互いに関連付けて考えることが現代社会には必要です。ほかにも、企業活動や人の動きのグローバル化など、現代には、自然・社会・人間についての科学が、手を取り合って取り組まなければならない課題が多くあります。そこで、環境システム学類では、現代の様々な環境問題に対応するために、３つの課程を設置し、各課程で専門性を養いつつ、課程の枠を超えた学修が可能なカリキュラムを用意しました。

環境システム学類では、１年次において学域・学類共通科目である各課程の入門科目を履修し、領域横断的な視点を形成します。２年次以降は各課程に配属し、それぞれの課程で専門性を深めつつも、他の課程の研究を幅広く学修できます。

履修モデル（履修の一例）

	環境・マネジメント・情報の3分野を学ぶ	3課程の基礎を固める	各課程で専門性を高めていく		
	専門基礎科目 学域共通科目 他学類専門科目	学類基盤科目	環境共生科学課程 専門科目	社会共生科学課程 専門科目	人間環境科学課程 専門科目
1年次	●基礎数学Ⅰ ●基礎数学Ⅱ ●サステイナビリティ入門 ●社会システムとサステイナビリティ ●法律学入門 ●共生文化論入門	●環境共生科学入門 ●社会共生科学入門Ⅰ ●人間環境科学入門Ⅰ			
			経過選択制による課程配属（2年次後期より）		
2年次	●統計学基礎Ⅰ ●統計学基礎Ⅱ ●国際法と共生社会	●社会共生科学入門Ⅱ ●人間環境科学入門Ⅱ ●地球環境学 ●環境生物学 ●環境哲学・倫理学 ●環境システム学演習Ⅰ ●環境システム学演習Ⅱ	環境共生科学課程 ●地球環境の化学 ●地域・都市環境学 ●文化と共生 ●文化と景観 ●海洋環境生態学 ●陸域環境生態学 ●公衆衛生学Ⅰ ●公衆衛生学Ⅱ	社会共生科学課程 ●現代の言語環境 ●ディスコースと社会 ●共生社会と宗教 ●共生社会とアイデンティティ ●社会構想の文化史 ●都市文化論	人間環境科学課程 ●認知科学Ⅰ ●対人環境の認知 ●臨床心理学概論 ●心理療法論 ●環境心理学 ●心理発達と環境 ●人間環境科学演習Ⅰ
3・4年次	●情報セキュリティ ●経営管理Ⅰ ●マーケティング・サイエンス ●環境経済学A	●環境システム学演習Ⅲ ●環境システム学演習Ⅳ	●環境アセスメント学Ⅰ ●環境アセスメント学Ⅱ ●環境政策学 ●食品安全論 ●環境計画学 ●環境計測学 ●再生可能エネルギー学 ●環境再生の化学 ●海域環境再生学 ●陸域環境再生学 ●環境再生学	●環境哲学と現代社会 ●言語表現と世界認識 ●言語の社会システム ●現代の社会問題と社会運動 ●公共性の社会学 ●個人創造の思想史 ●都市と経済の地理学	●認知科学Ⅱ ●認知情報処理 ●組織環境と行動 ●身体と心理臨床 ●心の病理学 ●心理検査法 ●人間環境科学演習Ⅱ ●文化心理学 ●ヒトと住環境

ピックアップ講義

環境共生科学課程

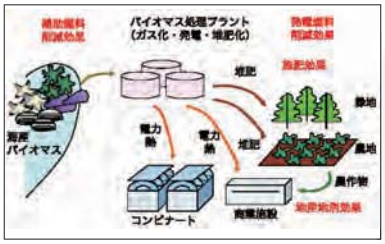
研究テーマ

海産バイオマスによる環境再生

環境システム学類　環境共生科学課程
大塚 耕司教授

海洋環境の改善を、生物の取り上げ・再利用という手法でアプローチ。

陸から過剰な栄養物質が流入している大阪湾奥の閉鎖性海域を対象として研究。海藻など季節的に大発生する生物（海産バイオマス）を取り上げ、メタンガスや堆肥などの原料として利用し、海域環境を改善すると同時に、化石燃料消費の少ない都市を築く研究を行っています。



教員からのひとこと

バイオマスを有効利用することで、化石燃料の消費が抑制でき、さらに低炭素社会の貢献に繋がります。

エチオピア農牧社会の研究

環境システム学類　環境共生科学課程
宮脇 幸生教授

エチオピア西南部の農牧民の生存戦略と社会の変容を研究。

エチオピア西南部の農牧民社会は、一見して伝統的な姿を保っていますが、実際にはそれは国家支配やグローバル経済の浸透に抗して形成・維持されてきたものです。私はこの地域の農牧民が、どのような歴史をにない、それを自らのアイデンティティにどのように統合し、社会を維持してきたのか、またその社会がどのように変容しつつあるのかを研究しています。

教員からのひとこと

異文化研究は、刺激に満ちた研究です。フィールドでは、そこにいる他者だけでなく、自分が何かということも考えさせられます。

社会共生科学課程

研究テーマ

宗教から社会を理解する

環境システム学類　社会共生科学課程
秋庭 裕教授

欧米における日本宗教の展開を研究。

ここで言う「宗教」とは、特定の宗教・宗派・教団ではありません。古今東西人類は、なぜ、神や聖なるものを祀り崇めてきたのか。宗教なるものは、「社会」的なるものの凝集体、エッセンスなのです。社会という人間の集団は「それ」がなければ成り立たない。社会の「秘密」なのです。

教員からのひとこと

ヒトと会うのが基本の研究スタイル。五感をフルに働かせて初めて分かることがたくさんあります。

日本語生活の今を可視化する

環境システム学類　社会共生科学課程
西尾 純二教授

ことばはその意味以上に、人・地域・社会・時代を語る。

ことばは地域社会の合意を得ながらゆっくり形成され、変化します。ことば以外に地域全体で築きあげる人工物はそうないでしょう。ことばの形成プロセスには地域の歴史、人々の生活観が練りこまれています。だからこそ、自他のことばを理解したい。今、そこにあることばには、どんな背景があるのか。地道な調査・データ収集から解きほぐします。

教員からのひとこと

私たちは、いつの間にか特定の言語環境に影響を受けて思考・行動しています。じっくり言語環境を観察しましょう。

人間環境科学課程

研究テーマ

建築・都市環境に関する研究

環境システム学類　人間環境科学課程
飛田 国人准教授

居住者の行動や価値観など、人の知覚・行動を考慮した人と環境の関係を研究。

人に望ましい温度、光、音、においは、どのようなものなのか。また、環境負荷を小さくするには、環境をどうコントロールし、人はどう暮らすべきなのか。建物内や都市における実態調査・実験・数値シミュレーションを行い、人にも環境にも望ましい空間について研究しています。

教員からのひとこと

データや理論に基づく論理的な思考をする中で、心の中に芽生える根拠のない違和感を大切にしてください。

心理療法での心の動き

環境システム学類　人間環境科学課程
川原 稔久教授

心理療法での心の動きをイメージや身体を手がかりにして研究。

心理療法とは表現を通して心の動きを自覚する営みです。そのなかで、絵を描いたり、夢を見たり、箱庭を置いたりするときに、心の動きに気づくという現象があります。このような、言葉以前のイメージやからだの感じを手がかりに心の動きを自覚する現象を、主に事例研究という方法で研究しています。

教員からのひとこと

直感的なイメージやからだの感じが、生きることへの智恵に関わると感じています。

環境共生科学課程

自然環境科学分野の専門知識・技術の修得を中心に学修し、生態系の中で、人が共生するシステムについて考えます。

生態系という共生のシステムは、海、山はもちろん、砂漠にさえ存在しています。それらの自然環境の上に、人間は都市を築いてきました。そして、私たちの都市生活は、人間を含む生態系にいくつもの問題を引き起こしています。これらの問題を解決するために、環境共生科学課程では自然のシステムを理解し、自然環境の中で人間が共生するシステムについて考えます。具体的には、1年次において学域・学類共通科目である各課程の入門科目を履修し、領域横断的な視点を形成。2年次には、「海洋・陸域環境生態学」や「環境政策学」、「環境社会学」を学修し、学際的な知識や方法論を修得します。さらに、「異文化の理解」や「文化と共生」、「文化と景観」などの文系的科目と「公衆衛生学」や「地球環境の化学」、「地域・都市環境学」といった理系科目をバランス良く履修。3年次からは、「環境アセスメント学」や「環境再生学」など、より専門性を高めていきます。これらにより複数分野の方法論を理解し、実際の環境問題に対応できる能力を養います。

資格・受験資格

- 中学校教諭一種免許状（社会）
- 高等学校教諭一種免許状（公民）
- 日本緑化センター認定　自然再生士補

想定される進路

- サービス業
- 金融業
- 情報通信業
- 公務員
- 中学・高等学校教員
- 大学院への進学

社会共生科学課程

異なる価値観を持った人々を理解し、他を抑圧することなく共生できる社会環境を構築するための実践知を探究します。

生活様式や生命観、対人関係のあり方について、自分と異なる価値観を尊重し、ともに生きるためのコミュニケーション能力を身につけることが、これから社会で生きる一人ひとりに必要です。このような能力を磨き、幸福感を持てる社会環境を構築するため、本課程では、多様な思想のあり方、社会問題、コミュニケーションやそのツールである言語についての理解を深めます。具体的には社会現象を共生思想の視点から解明する科目「共生社会と宗教」「環境哲学と現代社会」を配置。

また、社会システムの視点からアプローチする「共生社会とアイデンティティ」「都市文化論」「公共性の社会学」やコミュニケーションの視点からアプローチする「言語表現と世界認識」「ディスコースと社会」などをバランス良く配置しており、人間社会が引き起こした社会問題をさまざまな角度から理解し、問題解決への道筋を学修していきます。また、プロジェクト遂行型の演習を実施し、実践力を積極的に養っていきます。

資格・受験資格

- ■中学校教諭一種免許状(社会)
- ■高等学校教諭一種免許状(公民)
- ■日本緑化センター認定　自然再生士補

想定される進路

- ■サービス業
- ■金融業
- ■情報通信業
- ■公務員
- ■中学・高等学校教員
- ■大学院への進学

人間環境科学課程

認知科学・心理学・臨床心理学などの専門的視点から、人間と環境にまつわる根本的問題を鋭く分析し、調和を生む環境システムの実現をめざします。

「人間とは何か?」「環境とは何か?」「人間と環境との望ましい関係は?」このような根本的問題を考えるひとつの手がかりとして、環境を認知する「人間の心の働き」を学ぶという方法があります。本課程では認知科学・心理学・臨床心理学などの多様な専門的視点から、「人間の心の働き」を探究する科目を開講しています。「認知科学I・II」「環境心理学」「対人環境の認知」「臨床心理学概論」といった認知科学・環境心理学・社会心理学・臨床心理学を専門科目として履修し、学問的基盤を形成します。そのうえで、「人間環境科学演習I・II」「心理検査法」「心の病理学」「文化心理学」などの科目を通して、認知科学・心理学・臨床心理学をはじめとした幅広い心理学領域を履修します。実験や心理検査といった体験的理解を大切にし、それぞれの専門的視点を深めていきます。このような学修を通じて、人間の真のあり方が実現される環境システムを実践的に構築できる力を養成します。なお、本課程のカリキュラムは「公認心理師」受験資格のための指定科目に対応しています。

資格・受験資格

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(公民)
- 日本緑化センター認定　自然再生士補
- 公認心理師

想定される進路

- サービス業
- 情報通信業
- 中学・高等学校教員
- 金融業
- 公務員
- 大学院への進学

Topics　マネジメント学類

学類詳細はP.17から

公認会計士という職業に出会い その夢を掴むことができました！／岩井萌さん（2016年度卒業）

「こういう仕事がしたい！」と思える職業が見つかりませんでしたが、簿記の授業が面白く「公認会計士になりたい！」と思うようになりました。1年生の12月から3年生の8月頃まで勉強漬けの日々。初めての一人暮らしで勉強と家事の両立は本当に大変でしたが、その甲斐もあり、目標通り3年生で公認会計士試験に合格し、早期卒業した後、4月から、監査法人で働いています。

全文はWEBから

※マネジメント学類では、2014年以降5年連続で在学中に公認会計士試験に合格する現役合格者を輩出しました。

新課程「経済データサイエンス課程」を語る

経済データサイエンス課程は、ビッグデータの分析ができる人材の育成が、社会のあらゆる分野で強く求められていることに対応して新設されました。経済データ分析は、何かを与えた時に何が起こるのかということを見極める学問で、ビジネス、医療、年金、介護、金融、労働、教育など身近なあらゆる分野で活用できる興味深い学問です。身近なニュースをデータサイエンスで解明できると、この学問分野に関心が高まりますね。講義やゼミのなかで一緒に考えることができれば、学生にとって刺激になるのではないかと思っています。そういった展望を考えると本当にワクワクします。

全文はWEBから

グローバル特待生として国際的に活動 ／ 櫻井幸志さん（2017年度入学）

本学の第1期グローバル特待生※に選ばれました。これまでの留学経験を通して、外国の人々と信頼し合い協力して物事を行うためには、語学力以外にも、異文化を受容する寛容性、思いやりを持った人間性、主張する力などが必要であると実感しました。将来、会計の分野で国際的に活躍したいと考えていますので、グローバル特待生の制度を活用して、海外インターンシップの参加、留学生のサポートなど国際的な活動を行っていきます。

全文はWEBから

※グローバルリーダーとして必要な能力を伸ばすための奨学金および育成プログラムを受けられる制度です。

マネジメント学類 School of Management

マネジメント課程 Management ／ 経済データサイエンス課程 Economics and Data Science

皆さんはマネジメント（management）という言葉を聞いたことがありますか？　日本語に訳すと「管理、経営、取り扱い、操縦」といった意味になります。経営者といった意味もありますが、経営者を表す言葉としてはマネジャー（manager）という言葉があります。どちらもmanage（経営する、うまく取り扱う、なんとかやり遂げる）という言葉から派生した言葉です。ですからマネジメントというのは、難しい問題、特に一人では達成できない大きな目標を何とかうまく成し遂げるという意味であり、マネジャーはそれを取りまとめる人ということになります。広く社会全体から、その構成要素である国、地方自治体、営利企業、非営利組織、家計、個人などのそれぞれ固有の問題も扱います。この点が「マネジメント学類」の大きな特徴です。
マネジメント学類では経済学、経営学、法学、経済データサイエンス、会計学、生産システム科学といった６つの学問領域を理論的、実践的に学びます。

履修モデル（履修の一例）

マネジメント・情報・環境の基礎科目を学ぶ ／ マネジメント課程、経済データサイエンス課程の共通基盤科目を学ぶ ／ 各課程で基盤となる科目を学ぶ（少人数ゼミナールなど） ／ 各課程における専門科目を学ぶ

	専門基礎科目 学域共通科目	学類基盤科目		学類発展科目		
1年次	●基礎数学Ⅰ･Ⅱ ●統計学基礎Ⅰ･Ⅱ ●サステイナビリティ入門 ●社会システムとサステイナビリティ ●法律学入門 ●共生文化論入門	●経営学入門Ⅰ･Ⅱ ●会計学入門Ⅰ･Ⅱ ●ミクロ経済学入門Ⅰ･Ⅱ ●マクロ経済学入門 ●経済データサイエンス入門 ●経済学･経営学のための数学	●政治学 ●基礎ゼミナールⅠ			
				経過選択制による課程配属（2年次前期より）		
				マネジメント課程（※1）		経済データサイエンス課程（※2）
				A経営・法律系科目	B経済系科目	C経済・経営系科目
2年次	●解析学基礎Ⅰ･Ⅱ（経済データサイエンス課程） ●線形代数Ⅰ･Ⅱ（経済データサイエンス課程） ●プログラミング入門（経済データサイエンス課程） ●国際法と共生社会	●日本経済史Ⅰ ●金融入門 ●経済政策入門 ●憲法Ⅰ･Ⅱ ●倫理学 ●民法入門･総則	●ミクロ経済学Ⅰ･Ⅱ ●マクロ経済学Ⅰ･Ⅱ ●計量経済学Ⅰ ●生産システム科学 ●原価計算Ⅰ･Ⅱ ●経営管理Ⅰ･Ⅱ ●経済思想史 ●民法A ●基礎ゼミナールⅡ ●外書ゼミナール ●経済データサイエンス演習Ⅰ･Ⅱ		●計量経済学Ⅱ ●労働経済Ⅰ･Ⅱ ●ゲーム理論 ●メカニズムデザイン ●財政学A･B	●マネジメント学インターンシップ
3・4年次	ピックアップ講義		●マネジメント学類演習Ⅰ ●マネジメント学類演習Ⅱ	●現代企業論 ●経営戦略 ●経営組織 ●人材マネジメント ●経営情報システムⅠ･Ⅱ ●財務管理 ●財務会計Ⅰ･Ⅱ ●管理会計Ⅰ･Ⅱ ●生産管理システム ●国際経営 ●民法B･C ●国際取引法 ●会社法Ⅰ･Ⅱ ●金融法 ●決済法 ●租税法A･B	●経済統計Ⅰ･Ⅱ ●金融 ●国際金融Ⅰ･Ⅱ ●国際貿易Ⅰ･Ⅱ ●日本経済史Ⅱ ●産業組織Ⅰ･Ⅱ ●地方財政Ⅰ･Ⅱ ●環境経済学A･B ●医療経済学	●マーケティング･サイエンス ●意思決定論 ●経済データマイニング ●経済データサイエンスのための情報分析 ●マーケティング戦略Ⅰ･Ⅱ

（※1）A、B、C合計で30単位以上修得、かつ、要件［Aを20単位以上、Bを6単位以上修得］を満たすこと。
（※2）A、B、C合計で30単位以上修得、かつ、要件［Bを20単位以上、Aを6単位以上修得］を満たすこと。

資格・受験資格

■高等学校教諭一種免許状（公民）

想定される進路

■金融･保険業、製造業、流通業、サービス業など各種企業
■公認会計士･税理士
■公務員
■大学院への進学

研究テーマ

雇用システムについての研究

マネジメント学類
野田 知彦教授

日本企業の雇用・人事システムの変遷をデータ分析。

グローバリゼーションやIT化の進展に伴って、日本企業の雇用システムはここ20年間で大きな変貌を遂げました。賃金制度は年功賃金から成果主義へ変化し、非正規雇用が増加しています。このような変化が我々の働き方や暮らしにどのような影響を与えているのか、また、どの様な雇用システムが企業と労働者にとって合理的なのか、といった問題をデータによって分析を行っています。

教員からのひとこと
企業の競争力の強化とワーク・ライフバランスの達成をどのように両立すればいいのか一緒に考えていきましょう。

天職感のマネジメントについての研究

マネジメント学類
上野山 達哉教授

ひとりひとりの仕事に対する使命感を組織の成果にどう繋げるかのデータにもとづく研究。

自分の仕事経歴にどの程度使命感を感じるかを示す概念として「天職感」があります。天職感には、仕事へのやる気や組織への愛着を高めるなどの好影響があります。他方で、天職感がある条件下になると、組織や仕事のモラルを守らない行動を導くこともわかりました。このような人材をどのようにマネジメントすべきかの研究を行っています。

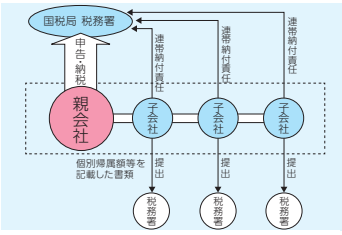
教員からのひとこと
組織全体の問題を個人個人の問題、集団の問題とともにさまざまなレベルで考える能力を身につけましょう。

連結納税制度についての研究

マネジメント学類
酒井 貴子教授

わが国のグループ法人税制の発展へむけて、日本法と米国法を比較法的に研究。

連結納税制度は、親子会社で一緒に税金を計算することができる制度。例えば、子会社の持っている損失を使って、親会社の所得を低く抑え、税金を安くできる。この制度を濫用することで税金を逃れる、さまざまなスキームが仕組めてしまう…。それらをどう阻止できるか研究しています。



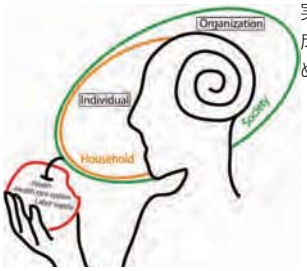
教員からのひとこと
税金について学び、一つの社会を見る目を養ってください。また、その知識を生かせる人材に成長してください。

医療経済に関する研究

マネジメント学類
牛 冰准教授

様々な個票データと経済学の分析手法を用いた健康・医療に関する研究。

日本における健康・医療に関する研究は、海外と比較し発展途上にあり、とりわけ実証研究の蓄積は少ない状況にあります。そうした中で、私は、国際的に注目される「メンタルヘルス」「医療の満足度」「医療の経済評価」などをテーマに、日本の最新データを用いた実証分析を行い、その研究成果を世界に発信することをめざしています。



教員からのひとこと
経済データ分析によって導き出された科学的根拠に基づいて、様々な政策提言について考えてみませんか。

経営者の裁量行動の動機解明に関する研究

マネジメント学類
小嶋 宏文准教授

会計数値を変えようとする経営者の裁量行動の動機解明を、統計的手法を用いて明らかにする研究。

会計数値はヒト・モノ・カネを動かし、特に利益数値は株価に影響を及ぼすことは広く知られています。しかしながら、その数値が実際にどのような意図をもって作成されているのかは外部から理解することは困難です。このような状況において、仮説検証を行うことにより経営者の数値を変更しようとする動機を明らかにする研究を行っています。

教員からのひとこと
就職活動をする際に会計数値を読み解く力は不可欠です。計算プロセスをしっかり身につけてください。

生産システムの開発と研究

マネジメント学類
岩村 幸治教授

最先端の技術を活用したグローバルな競争力を持つ生産システムの開発と研究。

グローバルな競争環境において、製品をライバル企業より早く・安く・高品質に生産するためには、効率の良い高度な生産システムが必要です。自律的な意思決定と行動を行うロボット型生産設備による生産システムの開発、生産システムの最適な計画を作成するための人工知能、数理計画法の活用方法などについて研究しています。

教員からのひとこと
「ものづくりはひとづくり」生産システムに関する開発・研究を通して、グローバルな競争力のある人材になりましょう。

マネジメント課程

社会が抱える諸課題の中で経済社会の発展に貢献する実践的マネジメント力を育成します。

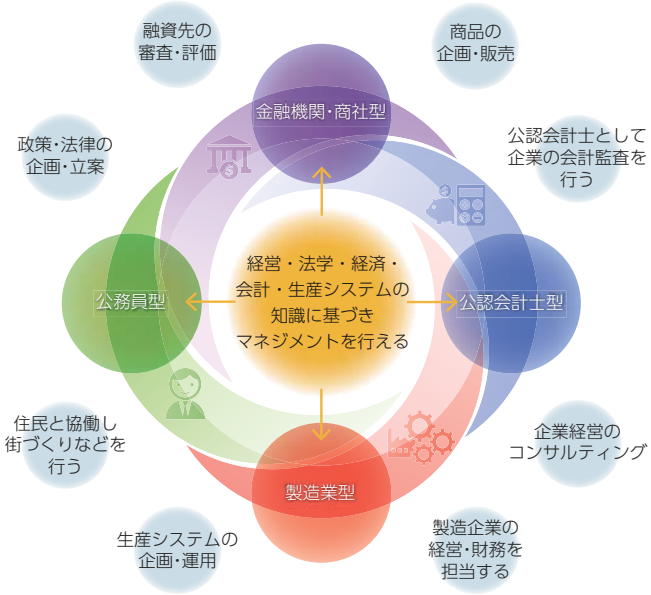
現代社会が抱える少子高齢化や環境問題など、持続可能な社会をめざすにあたっての諸課題は、われわれの生活や経済社会の担い手である企業を中心とした組織の経営にも大きな影響を与えます。これら経営を取り巻く諸課題の中で、企業などの組織をマネジメントするためには、経営学のほか、会計学、企業活動に関連する法学、経済学さらには日本企業の強みである、ものづくりのための生産システム科学といった専門知識の修得が必要となります。また、社会全体の視点から国、地方自治体、企業、家計、個人などもマネジメントの対象です。マネジメント課程では、これら学問領域を総合的に学ぶことによって、複合的なつながりの視点で課題解決に取り組むシステム的思考力を養い、グローバルで持続可能な経済社会を実現するための実践力を身につけます。

〈金融機関・商社型〉
経営学、経済学の知識をベースとして、金融機関・商社で活躍できる人材を育成

〈公認会計士型〉
経営学、会計学、法学の知識をベースとして、公認会計士や税理士として活躍できる人材を育成

〈製造業型〉
経営学、生産システムの知識をベースとして製造業で活躍できる人材を育成

〈公務員型〉
経営学、法学、経済学の知識をベースとして、公務員として活躍できる人材を育成



経済データサイエンス課程

経済学とデータ分析のコラボレーションで、新たな問題解決能力を養成します。

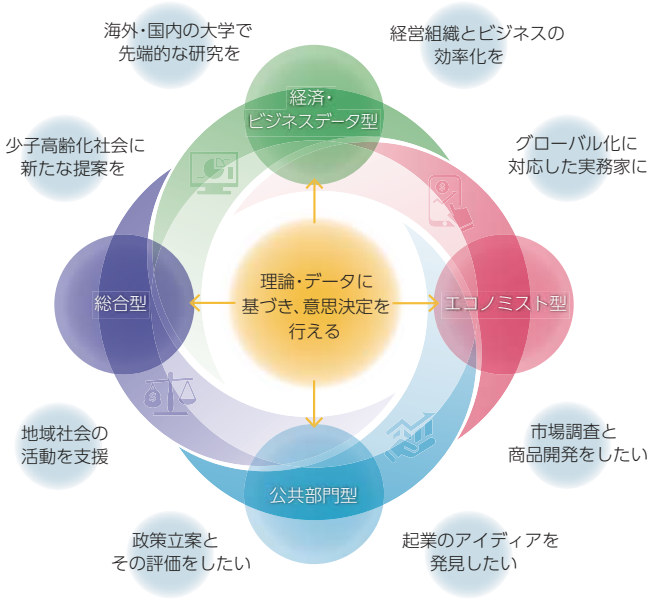
近年、金融、ビジネスや公共政策など、多くの領域で集められたデータが重視され、経済・経営の専門知識とデータ分析能力を併せ持った人材へのニーズが国際的に高まっています。例えば、「資産保有の戦略を立てる」、「購入パターンから顧客の嗜好を推測する」、「産業規制の効果を評価する」といった課題は、経済学とデータ分析の融合なしには解決できません。経済データサイエンス課程では、経済学と統計データから意思決定に役立つ情報を引き出す実践的なデータ分析を学びます。これにより、国際基準の経済学を駆使して多様な場面で問題解決に臨むエコノミストや、経済・ビジネスデータの新しい活用法を提案するデータの分析力と説明力をつけた人材を養成します。

〈経済・ビジネスデータ型〉
データに基づき、経済・ビジネスの問題を解決する人材を育成

〈エコノミスト型〉
最先端の経済学とデータ分析を駆使。実務・学術研究双方で国際的に活躍する人材を育成

〈公共部門型〉
財政制度・法制度の理論を踏まえ、データに基づく政策の立案と評価ができる人材を育成

〈総合型〉
経済学とデータ分析、経営学・会計学・法学・生産システム科学を学び、幅広い分野に適応できる人材を育成



大阪府立大学
OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY

高度研究型大学～世界に翔く地域の信頼拠点～

https://www.osakafu-u.ac.jp/

高校生向け
"やりたいこと"探索サイト
キーワードで逆引き
Find Out!!

中百舌鳥キャンパス（なかもず）
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号
- 現代システム科学域　知識情報システム学類・環境システム学類・マネジメント学類
- 工学域　電気電子系学類・物質化学系学類・機械系学類
- 生命環境科学域　応用生命科学類・緑地環境科学類・理学類
- 地域保健学域　教育福祉学類

羽曳野キャンパス（はびきの）
〒583-8555 大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号
- 地域保健学域　看護学類・総合リハビリテーション学類

りんくうキャンパス
〒598-8531 大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地の58
- 生命環境科学域　獣医学類

I-siteなんば
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル2・3階

アクセス

公共交通機関（電車）での所要時間（めやす）

JR大阪駅（Osaka Metro梅田駅）	約55分	中百舌鳥キャンパス
	約75分	羽曳野キャンパス
	約70分	りんくうキャンパス
Osaka Metro なんば駅	約45分	中百舌鳥キャンパス
	約65分	羽曳野キャンパス
	約55分	りんくうキャンパス
JR新大阪駅	約65分	中百舌鳥キャンパス
	約80分	羽曳野キャンパス
	約70分	りんくうキャンパス
JR京都駅	約100分	中百舌鳥キャンパス
	約120分	羽曳野キャンパス
	約105分	りんくうキャンパス
南海和歌山市駅	約100分	中百舌鳥キャンパス
	約145分	羽曳野キャンパス
	約45分	りんくうキャンパス
中百舌鳥キャンパス	約80分	羽曳野キャンパス
中百舌鳥キャンパス	約70分	りんくうキャンパス

羽曳野キャンパス～中百舌鳥キャンパス　キャンパス間バス（無料）を運行
詳しくは P.90

例えば新大阪から

中百舌鳥キャンパスへは
Osaka Metro御堂筋線「新大阪駅」
▶なかもず行き▶
▶Osaka Metro御堂筋線「なかもず駅（5号出口）」から南東へ約1,000m、徒歩約13分。

羽曳野キャンパスへは
Osaka Metro御堂筋線「新大阪駅」
▶「天王寺駅」▶乗り換え
▶近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」▶
▶橿原神宮前及び河内長野行き等▶
▶近鉄南大阪線「藤井寺駅」下車▶
南口近鉄バス（1番のりば71、78系統、2番のりば72、75系統、3番のりば（銀行前）61、62、63、65、66系統）で約10分、「府立医療センター」下車、徒歩10分。

りんくうキャンパスへは
Osaka Metro御堂筋線「新大阪駅」
▶「なんば駅」▶乗り換え
▶南海本線「なんば駅」▶
▶関西国際空港行き空港急行▶
▶南海空港線「りんくうタウン駅（3番出口）」から徒歩6分

アクセス

【入試についてのお問合せ】
- 現代システム科学域
- 工学域
- 生命環境科学域
- 地域保健学域（教育福祉学類）

中百舌鳥キャンパス
入試課
TEL 072-254-9117

- 地域保健学域（看護学類、総合リハビリテーション学類）

羽曳野キャンパス
学生グループ入試担当
TEL 072-950-2117

入試関連イベントはこちら

2020年6月発行